月刊みんぱく 2020 7月号

編集後記

新しい生活様式の模索が続くなか、読者の皆さまはいかがお過ごしだろう。東京のラッシュアワーを知る海外の友人に、公共交通を停めない緊急事態宣言など無意味だろうといわれていた。だが、不要不急の外出自粛や休業の要請だけで爆発的な感染は抑えられている。ハグをしない習慣や室内で靴を脱ぐ生活、果ては民度の違い（‼）まで、その社会的要因が取り沙汰されているが、同調圧力の強さはあまり耳にしない。要請に背いてはじめて体感する圧力で、構造的に巷間（こうかん）に伝わりづらいからだろうか。

特集では、再開しても全サービスを提供できない民博をご自宅で利用してもらう一助として、民博がウェブ上で公開している写真データベースを紹介した。情報を伴う過去の写真はそれ自体貴重だが、さまざまに使われることで価値が高まる。わたしがかかわるネパール写真データベースでは、被写体になった方の孫から連絡があり、写真提供とバイラヴ仮面舞踊の映像取材に結びついた。また、ポカラ市の古写真を展示するギャラリーに、民博が80点の写真を正式に貸し出すことにつながった。民博は所蔵資料を作ったり使ったりしてきた当事者集団などと対話する関係を築く、フォーラム型の情報ミュージアムを目指す。写真データベースはその1チャンネルになりつつある。（南真木人）

●表紙：木渡り。樹木の枝木を伐採するために樹木間を移動する（「焼畑の世界――佐々木高明のまなざし」X0002649、熊本県五木村、1960年）

次号の予告

特集

「ヒトと感染症」（仮）

みんぱくをもっと楽しみたい方のために

国立民族学博物館友の会のご案内

友の会は、みんぱくの活動を支援し、博物館を楽しく積極的に活用するためにつくられました。
毎月『月刊みんぱく』をお届けするほか、さまざまなサービスをご用意しております。

維持会員・正会員
『月刊みんぱく』の送付／友の会機関誌『季刊民族学』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加／研究者同行の国内外研修旅行への参加　など

ミュージアム会員
『月刊みんぱく』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加　など

繰り返し入館できる**みんぱくフリーパス**や、学校・学部単位で利用できる**キャンパスメンバーズ**など各種会員種別もございます。目的にあわせてご利用ください。

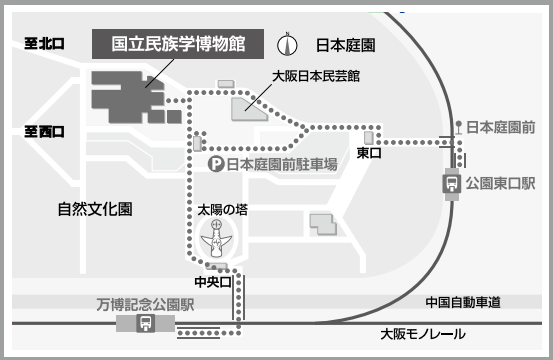
詳細は、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
（電話 06－6877－8893／平日9:00～17:00）

月刊みんぱく 2020年7月号
第44巻第7号通巻第514号　2020年7月1日発行

編集・発行　人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
電話　06-6876-2151

発行人　園田直子
編集委員　南真木人（編集長）　上羽陽子　齋藤晃　菅瀬晶子　三島禎子　吉岡乾
デザイン　宮谷一款　長岡綾子
制作・協力　一般財団法人 千里文化財団
印刷　株式会社 遊文舎

＊本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
＊本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内
●大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
●阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
●乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りください。
●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れできます。

みんぱくホームページ　https://www.minpaku.ac.jp/
みんぱくフェイスブック　https://www.facebook.com/MINPAKU.official
みんぱくツイッター　https://twitter.com/MINPAKUofficial
みんぱくインスタグラム　https://www.instagram.com/MINPAKUofficial/
みんぱくYouTube　https://www.youtube.com/user/MINPAKUofficial

国立民族学博物館
National Museum of Ethnology